

大会名 Competition	第31回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-101	Year Month Day Time 2018 年 5 月 3 日 9 : 00
場 所 Place	能代市総合体育館

発行：能代市バスケットボール協会  
http://ncup.snowland.net



チームA		チームB					
能代工業	<table border="1"> <tr><td>27 1st 18</td></tr> <tr><td>18 2nd 17</td></tr> <tr><td>18 3rd 20</td></tr> <tr><td>23 4th 17</td></tr> <tr><td>E P</td></tr> </table>	27 1st 18	18 2nd 17	18 3rd 20	23 4th 17	E P	市立船橋
27 1st 18							
18 2nd 17							
18 3rd 20							
23 4th 17							
E P							
86 ○		72 ●					

主審:Crew chief  
佐藤 匠 秋田  
副審:Umpire  
川熊 俊 宮城  
田中直幸 秋田  
テーブルオフィシャル:Table officials  
八学光星

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F
4	×	遠田 貴大	CAP	6	0	3	0	1	4	×	薬丸 侑平	CAP	7	0	2	3	1
5	×	新田 由直		14	1	5	1	3	5		下川 拓海		-	-	-	-	0
6	／	牧野 湧		2	0	1	0	1	6	／	永野 雄大		2	0	1	0	2
7	×	齋藤 創		10	0	5	0	1	7	×	大澤 響生		14	2	2	4	2
8	×	高橋 日向		11	1	4	0	2	8	×	大川 颯斗		30	6	3	6	0
9	×	佐藤 侃		13	3	2	0	0	9	／	碓氷 真吾		6	1	1	1	4
10	×	秋元 淳之介		7	2	0	1	3	10	／	衛藤 崇		0	0	0	0	1
11	／	須藤 陸		13	3	1	2	3	11	／	佐藤 健人		2	0	1	0	4
12	／	伊東 翼		6	1	0	3	1	12	／	佐藤 伊織		0	0	0	0	0
13	／	中山 玄己		4	0	1	2	2	13	×	和田 将英		6	0	3	0	1
14		上村 悠真		-	-	-	-	0	14	／	三上 颯斗		0	0	0	0	0
15	／	佐々木 駿汰		0	0	0	0	0	15	×	楊 博		5	0	1	3	3
16		上村 大佐		-	-	-	-	0	16	／	樋口 陸		0	0	0	0	0
17	／	森山 陽向		0	0	0	0	0	17		浅野 春翔		-	-	-	-	0
18	／	成澤 頼		0	0	0	0	0	18		谷戸 祐太		-	-	-	-	0
コーチ		杉沢 政						0	コーチ		斉藤 智海						0
アシ		小野 秀二						0	アシ		井上 知徳						0
合 計				86	11	22	9	17	合 計				72	9	14	17	18

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P率 インシュート 2P:2P率 インシュート FT:フリースロー F:ファウル

#### Score ranking[Team]

1	14	16.28%	新田 由直	1	30	41.67%	大川 颯斗
2	13	15.12%	佐藤 侃	2	14	19.44%	大澤 響生
2	13	15.12%	須藤 陸	3	7	9.72%	薬丸 侑平

#### Score ranking[Game]

1	30	大川 颯斗	市立船橋	2	14	新田 由直	能代工業	2	14	大澤 響生	市立船橋
---	----	-------	------	---	----	-------	------	---	----	-------	------

能代カップで初の采配を振る小野コーチの故郷能代デビュー戦。

1Q、立ち上がりの得点は能代工。復活の予感を感じさせてくれる。一方の市立船橋はPF兼重を欠いているせいか動きが今一つ硬い。能代カップの性質上どうしても試しながらゲームを作っていく感じになるが、1Qを限る限り能代工の完成度は高い。27-18の9点リードで終了。

2Q、立ち上がりで能代工は1年生がうまく機能せず、すぐに交代する。これでリズムを崩し、市立船橋は#6永野、#7大澤、#9碓氷の活躍で一気に逆転。しかし能代工はディフェンスから立ち直りを見せて45-35、能代工10点リードで前半を終了する。

後半3Q、立ち上がりでまたも市立船橋が猛攻で逆転。能代工にとっては各クォーター序盤の試合運びが途上のチームの悩みというところか。しかし市立船橋もいい状態は続かず、能代工が再び逆転する。この立役者は能代工#7齋藤。フェイダウェイ2本で波を能代工に戻す。ルーズボールからの速攻も出て63-55で3Q終了。

4Q、4度目の逆転はなかった。追撃する市立船橋だが、能代工は良いリズムのパスと3Pで加点し崩れない。市立船橋は3Pで追いつくが流れは変わらず、86-72で能代工が勝利した。